

2009年(平成21年)12月8日(火曜日)

# 老人施設で学習療法

## 認知症改善に大幅効果

岐阜市の介護老人保健施設「寺田ガーデン」(三牧孝至施設長)が、学習療法を主体とした「学校方式」の短期入所療養介護事業を始めた。学校を模した短期入所は県内で初めての試み。すでに実施している熊本市の施設では、入所者の認知症の症状が大幅に改善する効果が表れていることから、県と岐阜市も注目している。

寺田ガーデンは11月1日から、短期入所者約90人を対象に取り入れた。短期入所は、在宅で生活する「要支援」「要介護1〜5」の人が対象で、一時的に心身状態が低下した場合などにリハビリや医療ケアを行い、自立や家庭復帰を目指している。

**学習療法** 東北大など産・学・官の共同研究

チームによって研究、開発され、認知症を予防・改善する効果が科学的に証明された唯一の非薬物療法。音楽と計算が中心の教材を用いた学習を行うことで、認知機能やコミュニケーション機能の維持、改善が図られる。

### 岐阜「寺田ガーデン」始める

理事らが、熊本市の介護老人保健施設「おとなの学

(金成真也)

校」の短期入所で学校のように入所者の学習療法を行い、入所者の症状改善に大きな成果を挙げていることを知り、自らの施設でも取り入れることを決めた。8月には職員をおとなの学校に派遣してノウハウを学び、準備を整えてきた。

施設では午前8時半から午後4時までの間、体育、脳トレ、社会、音楽と、読み書きと計算の教材や数字盤を使った「くもん学習療法」の授業(1時限30分)を3回実施。これまでに入所者の表情が明るくなるなど、具体的な効果が見られるという。

同事業の開始から1か月余りが経過した4日、改めて開校・入学式を実施。短期入所者のうち女性22人が出席した。三牧施設長は「脳トレを主体に身近な目標を立ててもらい、達成までのプロセスを楽しんでもらうことを目標とします」とあいさつし、入所者の代表に入学証明書を手渡した。

午後4時までの間、体育、脳トレ、社会、音楽と、読



入学者代表に入学証明書を手渡す三牧施設長(右)

来賓に招かれた、おとなの学校を運営するピュア・サポートグループの小山敬子代表は「入所者の症状が目に見えて改善されることで、職員の職務への意欲も高まった。寺田ガーデンもその様子を見て共感してくれたのだと思う」と祝辞を述べた。

問い合わせは寺田ガーデン(0588・2533・7600)へ。